

2022 年度 撮影会 旅行記(撮影班) 高校一年 ** **&○○○○

0. プロローグ(**)

こんにちは、高一研究班の**です。鉄道研究部では毎年秋ごろに撮影会というものがあり、旅行先の列車に乗る乗車班と有名な撮影地に行く撮影班に分かれています。この旅行記では 2022 年 11 月 20 日に実施した撮影班の道中での出来事やハプニング等をユーモアを交えて書いているので、興味を抱いてくれた方は鉄道研究部に入部してくれると嬉しいです。また、午前編を**、午後編を○○がそれぞれ執筆しています。ぜひ最後まで読んでいただくと幸いです。

それでは...

Let's 出発進行〜!(伝統的な定型文です)

1. 浅草駅の下見(**)

撮影会の一週間前に集合場所である浅草駅の下見をしに行った。ついでに、班員から徴収した大量の紙幣と小銭をバックパックに詰めて、全員分のきっぷも購入した。出札窓口の方が非常に親切で、チケットホルダーを予備の分までくださりありがたかった。東武では JR と異なり乗車日の 1 ヶ月前の 9 時から購入できることを初めて知った(JR は 10 時)。その後は浅草駅の駅舎を撮影したり、集合場所を確認したりするなどして当日に備えた。

2. 初冬の柘木へ(**)

最寄り駅 ???▶▶▶都営浅草線 普通/印旛日本医大 ▶▶▶浅草 5:52

眠い目をこすりながら 4 時半に自宅を出発した。コロナ禍の影響でここ 2 年間は撮影会を実施できなかったのが、久しぶりの撮影会となり意気揚々としていた。都営浅草線で浅草駅に到着し、下見のときと同様 A5 出口という場所に向かうはずが、うっかり違うところから出てしまった。急いで東武の浅草駅に向かい、なんとか一番乗りでプランナーとしての面目は守られた。



早朝の浅草駅
人が少ない



今回使用した全員分のきっぷ
えげつない枚数...

何を隠そう撮影班は早朝の移動がマストになるので、6時15分というかなりハードな集合時間になってしまった。班員の多くが神奈川県在住にも関わらず余裕をもって到着してくれ、しっかりしているなと思った(班員の1人が2分遅刻したのはここだけのお話)。今回使うきっぷは乗車班と違ってすべて統一し、乗車券&特急券の往復と現地の細かい移動のための「日光・鬼怒川エリア鉄道乗り放題きっぷ」を使用することにした。一通り本日のスケジュールを説明してホームに入るとすでに東武が誇る500系特急リバティが停車しており、班員たちは熱心に撮影していた。Wi-Fiや全席コンセントも完備している非常に快適な列車であり、今年7月にはスペーシアXという新型車両もデビューするので、東武のさらなる発展が楽しみである。

浅草 6:30▶▶▶特急リバティ会津 101号/会津田島 ▶▶▶下今市 8:12

浅草駅は立地の都合上、発車するとすぐに線路が90度カーブしたのち隅田川を制限速度15km/hで渡っていく。左手には東京スカイツリーが見えたがまだ曙の頃合いであり見えなかったのが残念である。今回乗車した列車はリバティ会津という福島県の会津田島駅まで行く列車で、下今市駅まで東武日光行きのリバティけごと併結して運転する。つまり、どちらの列車に乗ってもよかったのだが、この時期の日光は紅葉がきれいなので観光客が多いと推測して空いている会津の方を選択した。実際、けごんの車内を見に行ったらほぼ満席だった。列車は北千住駅を出ると北越谷駅までの複々線を快調にかつ飛ばしていった。この区間は私鉄の中では日本一の18.9kmもあり、外側が急行線で内側線が緩行線という構造になっている。春日部駅ではアニメ『クレヨンしんちゃん』の舞台にちなんで発車メロディ「オラはにんきもの」が流れ、一昔前まで音鉄だったサブプランナーも聞き入っていた。利根川を渡って栃木県最初の停車駅である栃木駅を出ると列車は関東平野を突っ切るように走行し、各自朝食を食べたり、二度寝をしたりするなどして下今市駅まで快適に過ごした。余談だが、サブプランナーが荒野行動というバトルロワイヤルゲームで敵に敗北したらしく、度々愚痴をこぼしたり声を荒らげていてとても不愉快だった(いつものことだが)。



浅草駅は列車とホームの隙間が大きい



板倉東洋大前駅で気球が見えた!

3.倉ヶ崎 SL 花畑で撮影会(**)

列車は定刻に下今市駅に到着した。ホームに降り立つと寒風が全身をおそい、冬がそこまで来ているのだと実感した。班員の多くが切り離し作業や写真撮影に夢中になっているなか、自分は次の列車まで余裕がないため惜しみつつも急いで改札へ向かい全員分のフリーパスを購入した。先ほども紹介したこの「日光・鬼怒川エリア鉄道乗り放題きっぷ」は下今市駅を中心として東武日光駅や新藤原駅まで行けるフリーパスであり、価格も 500 円と非常に良心的である。駅員さんが 1 枚ずつ日付スタンプを押すという昔ながらのスタイルで新鮮だった。次に乗車する普通列車は 20400 型といってこの日はたくさんお世話になる車両である。



日光・鬼怒川エリア鉄道乗り放題きっぷ



20400 型(この後イヤというほど登場します)

下今市 8:27▶▶▶ 鬼怒川線 普通/新藤原 ▶▶▶ 大桑 8:34

下今市駅を出発し最初の停車駅である大谷向駅で「反対列車と待ち合わせをするのでしばらくお待ちください」と放送があった。何がやってくるのだろうと思っていると轟音とともに SL 大樹 1 号の送り込み回送がやってきた。大桑駅の到着前には今回の撮影地である倉ヶ崎 SL 花畑が見えたので軽い下見をした。大桑駅からは国道 121 号に沿って徒歩 20 分で行く予定だったが

歩道が異常に狭く(というかなかった)

上、自動車やトラックの往来も激しく危険だったため途中にあった公園で U ターンして別の道で行くことにした。SL の時間に間に合うか不安な気持ちを抱きながら、トラクターの轍が残る一本道をずんずん進みなんとか予定の 10 分遅れで倉ヶ崎 SL 花畑に到着した。



のどかな山道に行く



倉ヶ崎 SL 花畑の入り口(?)

しかし、またしても問題が発生した。到着したのはいいものの

自分がどの構図から撮影するかをしっかりと決めてこなかった

せいで Twitter の情報を頼りに周辺の小高い丘や踏切を歩いた。そのせいで民家の敷地らしきところや田んぼの畦道も歩くはめになり、プランナーとして不甲斐なかった。この場を借りてお詫び申し上げます。幸い班員たちが線路沿いに記念碑のようなものを見つけてくれ、なんだかんだで構図が定まった。ここで、班員たちが各自持参したカメラを出して本格的な撮影会が始まり、ガチ勢である 2 人は三脚を出して班員の間で大いに盛り上がった。



構図を調整中



ガチ勢班員の三脚&Canonの一眼レンズ

今回のメインとなる撮影は 2017 年夏に鬼怒川線で運行を開始した SL 大樹である。この撮影地も SL 大樹の運行開始にあわせて田畑を整備したできた場所で、午前中の下り 2 本をここで撮影する。記念碑を絡めて数本の列車で練習をしていたら 1 号がやってきた。茶色い 14 系客車と青い 12 系客車の混合編成である。



20400 型



SL 大樹 1号

本命は乗車班がいる 3 号である。なぜかという、3 号は 2019 年まで JR 北海道で活躍していた「ドリームカー」と呼ばれる展望車を連結した編成で、かつて青森駅と札幌駅を結んでいた急行はまなすにも使用された貴重な車両であり、自分としては絶対に撮影したかったからである。1 号を撮影した後ばらばらに撮影していた班員が全員線路沿いの細い通路に固まり、3 号に向けて本格的に練習を開始した。サブプランナーがここで撮り鉄としての知識を発揮し、班員に明暗の調整や「あの電柱を目印にするとよい」等のアドバイスをしていて有能だった。その後は特急リバティや 253 系回送を撮影し、いよいよ 3 号がやってくるというときにサブプランナーがある提案をした。それは iPad にメッセージを書いて乗車班に車窓から見てもらうというものである。内容についてはコンプラの関係上お教えできないが軽スベリしたのはいうまでもない。そしていよいよ遠くから豪快な汽笛を鳴らして SL 大樹 3 号が通過し、班員が練習の成果を発揮するように連写をし、記者会見のようなシャッター音が鳴り響いた。C11 の力強い走りを間近で見ることができて感動した。



500 系特急リバティ



253 系回送



排煙と絡めて撮影できて大満足



コンプラの関係上モザイクを施しています

4.自由行動(**)

大桑 11:06▶▶▶鬼怒川線 普通/東武日光 ▶▶▶下今市 11:14

大桑駅に戻り、東武日光行きの普通列車に乗車した。ここから帰りの特急までは自由行動なので車内で解散して各自好きな撮影地や列車に乗りこいた。自分を含めた4人は午後のSL大樹も撮影したいと思い、下今市駅で下車してひとまず昼食をとることにした。3・4番線ホーム上に駅弁屋があり、すぐに昼食にありつけた。自分が買ったのは「けっこうづくめ」という駅弁で、1,000円ぐらい(正確な金額は忘れた)したが、旅の記念に少々奮発した。どこで食べようかと探していたら駅舎とは反対方向の場所にSL転車台があり、その休憩室で食べることにした。しかし、ただでさえ折り返し時間が約30分と僅かなのにも関わらず、うろちよろしていたので猶予は15分しかない。急いで休憩室に入り、全員駅弁をかきこんだ。さあ果たして折り返しの列車に間に合うのか!?続きはサブプランナーが執筆した午後編をご覧ください。ここまでお読みいただきありがとうございました!



なんと鉄道系 You Tuber スーツ氏のサインが...!



けっこうづくめ

5. 真の撮影班(〇〇)

執筆者変わりました!! 予定ではこの後別の場所で撮影を続行するはずだったが、他の場所へ行きたい人もいだろうということで一時解散も可能ということにした。僕は真の撮影班(?)なので別の撮影場所で大樹リベンジする。(執筆者は花畑での撮影に失敗しています)

大樹撮影組の僕らは午後の行程に向け腹を満たします。僕が食べているのは牛肉弁当だ。とってもよく味わって食べる程時間が有り余っているわけではないので急にご飯と肉をかきこむ。食べ終わったお弁当のゴミを片付けていると接近放送が鳴りだした。焦って階段を駆け上っていたが、実はまだ発車まで多少の余裕があったのはここだけの話だ。さあ午後編スタート!!

6. ドタバタジタバタ鬼怒川(〇〇)

<1>いざ第二の撮影地へ

さて昼ごはんも色々あったわけ(コンプラにつき公表を控える)だが、目的の電車に乗り次の撮影地を目指していく。

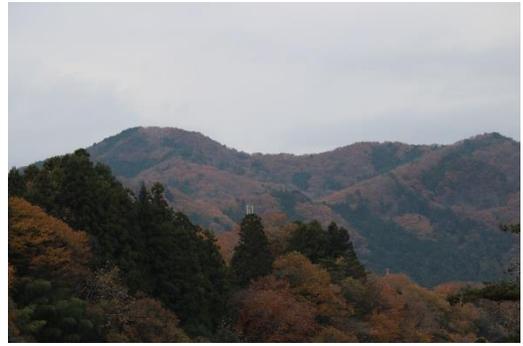
下今市 11:43	▶▶▶	鬼怒川線 普通/新藤原	▶▶▶	新高徳 12:07
-----------	-----	-------------	-----	-----------

さて新高徳駅に到着した我々が目指すのは鬼怒川!!

といっても全く遠くなく国道 121 号沿いを大桑駅方面に少し歩けば対面できる。SL と鬼怒川を入れて撮ってみたかったからだ。



鬼怒川入るとこんな感じ?



秋とも言えない山

またこれから撮影するのは大樹 4 号と大樹 5 号だが、5 号をどこで撮影するかはまだ決めていないので歩きながら撮影場所を決めるとしよう。と歩いていたら SL を真正面から撮れる絶好のスポットを発見!! 鬼怒川は入っていないが、迫力が凄そうだと少しワクワクしながら大体の場所に三脚を置く。先に来るのが 4 号は 13 時 10 分頃、5 号は 13 時 20 分頃に通過するだろうと計算しているため、あらかじめ決めてある 4 号の撮影場所で練習することにした。(この選択が後の行程とメンタルに響く)

※この大樹 4 号・5 号の通過時刻は誤りです。後ほど正しい時刻を掲載しているのでご覧ください。



練習で撮影した 20400 型①



練習で撮影した 20400 型②

焦ってあたふたしていると今度は 4 号がやってきた。なぜ 4 号が今来たのか、頭が混乱しながら撮影場所を走って移動しシャッターを切る。



少しずれた SL 大樹 4 号



別視点から

大混乱の現場だが、次の普通列車に乗車するため撤収しなければならない。急いで片付け新高徳駅へ戻るが全く意味がわからない。

行程上では新高徳駅から鬼怒川温泉駅へ向かい大樹 6 号に乗車する予定だったが、予定を変更し大樹 6 号を撮影するという案が出た。新高徳駅で大樹の切符を払い戻しできるか聞いたところ、100 円の手数料を払えばお金が返ってくるというのだ。高 2 と PP と自分は払い戻しをした。大樹に乗りたい人もいたので、大樹 6 号を撮影するか乗車するかは任意とした。とりあえず、大樹 6 号の到着までは時間があるため、鬼怒川温泉駅まで行って時間を潰すことにした。

7.Back to the SHIN-TAKATOKU (〇〇)

〈1〉わずかな休息の時間と絶望

新高徳 12:08 ▶▶▶ 鬼怒川線 普通/新藤原 ▶▶▶ 鬼怒川温泉 14:07

鬼怒川温泉駅に着いた我々は次に乗る 15:15 発の普通下今市行きが発車まで一時解散となった。まず窓口に行き、大樹の時刻表を見せてもらった。僕は驚いた。

なんと大樹4号が新高徳駅で 15 分運転停車していたのだ!

と目の前に小料理屋さんがあったのでカツ丼を持ち帰り注文をしたのだが、出来上がるのが遅かった。やっとできた時は 15 時 05 分だ。カツ丼を持って鬼怒川温泉駅までダッシュした。まあ間に合ったが、遅刻しそうになった事よりいい匂いだとかカツ丼の方で色々文句を言われた。まあ空腹には勝てない。そして地獄の新高徳駅へ戻る。



鬼怒川温泉駅



鬼怒太

鬼怒川温泉 15:15 ▶▶▶ 鬼怒川線 普通/下今市 ▶▶▶ 新高徳 15:27

さて再び新高徳駅へ戻ってきた。段々と暗くなっていくので冬が来たことを実感する。本来5号を撮影するはずだった場所でスペーシア(100系)を撮った。



日光詣スペーシア(鬼怒川温泉送り込み回送)

さて、ラストチャンスである大樹6号の撮影! 目的だった場所で撮ることはできなかったのが悔しい。



黒を強調しすぎた SL 大樹 6 号



明るい Ver. の SL 大樹 6 号

最後の締めにあふさわしい写真だと思う。さて、すぐに駅に戻らなければ下今市駅からの特急きぬに乗車できない。急いで駅に向かう。

新高徳 16:32	▶▶▶	鬼怒川線 普通/下今市	▶▶▶	下今市 16:45
下今市 17:02	▶▶▶	特急きぬ 146 号/浅草	▶▶▶	浅草 18:45



特急きぬ 146 号

きぬ146号

出発駅 新鹿沼発

出発時間 17:18

▼

到着駅 浅草着

到着時間 18:45

満席 ❌

なんと満席!?

さてこの撮影会もいよいよラストだが、どうやら乗車班も同じ列車だったようで様子を覗きに行った。そして驚いたのは満席だったという事だ。我々は団体に固まって指定席を取っているのでスヤスヤ眠っている人が多い。

とうきょうスカイツリー駅を通過し、いよいよ旅の終着浅草駅に到着だ。これでこの部旅行は幕を閉じた。

8. あとがき(〇〇)

部旅行記いかがでしたでしょうか。執筆者自身このプランナーとは何度も旅行する仲なので非常に書きやすかったです。それにしても浅草駅 6 時 15 分という鬼畜な時間を集合時間になっても 1 名を除く遅刻せず来てくれたことに感謝しています。皆さんも僕たちと一緒に撮影会いきましょう!

それではまた会う日まで!!